

令和2年度 新潟市新津育ちの森事業報告書

特定非営利活動法人ヒューマン・エイド二十二

代表 椎谷 照美

1 交流事業

1. あそびの広場

利用者と職員、および利用者相互の交流の広場と位置づけている。保護者と子どもが楽しく安全に遊べる場になるよう、採光、換気、衛生と子どもの年齢に考慮し、蜜にならないよう遊具を配置している。今年度は、新型コロナウイルス拡大防止による館内の入場制限を設けた。保育室が利用できる日は、ベビーの日は15組、フリーの日は13組。一時預かり等で使用する場合は、ベビー12組、フリー10組の定員とした。毎日午前午後、手遊びやふれあい遊びを行う「スポットタイム」を密にならないように配慮し、実施した。来館した親子で遊びを楽しめる時間を提供。

また、季節や行事を親子で楽しめる内容のイベントを設け、安全に考慮して企画実施した。館内装飾、スポットタイムなど、親子で楽しめるプログラムを提供し、利用者から好評を得た。地域の祭りや、子どもの日、七夕等日本古来の風習に親しむ機会を検討したが、新型コロナウイルス拡大予防のため、地域の祭りばやしは中止、子どもの日は休館のため実施できなかった。七夕は、館内を七夕装飾し、スポットタイムの中で楽しめる手遊びやパネルシアターを実施した。子どもも大人も気軽に参加でき、来館のきっかけ作りにもなっている。ハロウィンやクリスマスは、館内の装飾を楽しんでもらえるように企画した。写真コーナーを、ロビー、プレイルームに設け、親子で楽しんでいただいた。「日常から離れて気分転換になった」という意見も多く聞かれた。

初めて育ちの森を利用される方には、利用しやすいように館内案内をしている。また、一人で来館している利用者に声をかけ、孤立させないように配慮している。

サロンは、親子が交流、情報交換の場になるような雰囲気づくりを行った。ロビーのお茶を飲めるコーナーは、子どもを見ながらもくつろぎ、交流できるよう、ソーシャルディスタンスがとれるよう椅子を配置した。

安全面を考慮し、週3回午前2回午後1回、ベビー専用(1歳7カ月まで)の日を設定している。新型コロナウイルス感染拡大防止の為、令和2年4月21日より5月20日まで休館した。

- (1)開館日時
- ・日曜祝日、年末年始、土曜午後、館内メンテナンスを除く毎日
 - 午前の部 9:00～12:00
 - 午後の部 13:00～16:00
- (2)場 所
- ・プレイルーム
 - ・図書コーナー
 - ・一時預かりの利用がない場合は、保育室をあそびの広場として開放。
- ※サークルーム1、2は、窓がなく換気が十分に出来ないため、クローズした。

- (3)利用者数 ・利用数……延べ 6,480 人
 (4)チケット売上 ・チケット売り上げ数……0 枚

【表A】 開放区分

	月	火	水	木	金	土
午前	ベビー	フリー	ベビー	フリー	フリー	フリー
午後	フリー	フリー	フリー	ベビー	フリー	休み

季節のイベント開催

4月22,23,24日	こどもの日祭り 新型コロナウイルス拡大防止のため休館	12月18日～ 25日	クリスマスを楽しもう 入場者 195人
6月30,7月1,2日	七夕祭り 新型コロナウイルス拡大防止のため、中止	2月1,2日	節分スポットタイム 入場者 56人
9月24日	交通安全教室 新型コロナウイルス拡大防止のため、中止	3月1,2日	ひな祭りを楽しもう 入場者 51人
10月27日～31日	育ちの森ハロウィン週間として館内装飾とふれあい遊びのみ 入場者 149人	3月 16,24,25,26日	ありがとうの会(森の卒業式) 入場者 89人
1月19日	虫歯予防・歯磨き指導 中止	避難訓練 10月20日、3月29日の3回 防犯訓練 3月25日	

2. サロン

利用者のニーズに沿ったサロンを企画したが、新型コロナウイルス拡大防止の観点から、一部のサロンの実施のみとなった。職員がコーディネーターを務め、気軽な雰囲気の中で、交流や情報交換などを行った。今年度は、土曜日のパパサロンのみ実施した。

「パパサロン」

父親の育児参加と子育ての情報共有・交流を目的として実施。職員がコーディネーターを務め、遊びながらパパ同士の交流を促し、情報交換を行った。

(運動あそび、木育玩具、折り紙、新聞紙あそび、タッチケア等)

2. 相談事業

利用者からの相談に随時対応した。必要に応じ、相談室を使用し個別に相談対応を行った。電話相談・Eメールによる相談も随時対応した。

4月21日から5月20日までの期間、新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館になったが、電話、メールでの相談対応は通常通り対応した。

職員は相談の初期対応を行い、専門的な関わりが必要な場合は職員間で協議し、必要に応じて速やかに各機関につなげ、連携して支援を行った。

子育ての悩み相談の他、自身のこと、家族、ママ友、持病、経済的なこと等、相談内容が多岐にわたっている。今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、子どもを持つ親の不安や、休校・休園により子どもが家にいるストレス等の相談も受けた。
相談件数 計 1,651 件（電話・メール・面談）

3. 保育事業

「一時預かり」

事前登録を行い、当日保育カルテを確認・検温後、子どもの体調を確認し保育した。休養、通院、冠婚葬祭、求職、仕事復帰準備等の理由が主であるが、リフレッシュのために利用するケースもあった。

「保育ルーム」

講座に保育ルームを設け、保育が必要な子どもを保育した。新型コロナウイルス拡大防止の観点から、定員を 4 名に設定した。保育カルテ（保育ルーム専用カルテ）に記入後、一時預かりと同じように体調の確認を行った。事前にミーティングを行い、保育するにあたっての必要事項の確認を行った。保育ルームは、職員が保育・総括した。

一時預かり・保育ルーム共に、時間や年齢等規定に合わない条件の場合は、他の団体や保育園を紹介するなど、外部との連携を図り、柔軟に対応した。

1. 一時預かり

保育件数……73 件

平均利用時間……3 時間

2. 保育ルーム

(1) 保育数……延べ 40 人

(2) 開 設……14 回

保育時間は 2 時間

4. 講座

育児ストレスや育児不安の軽減を図るため、子どもの成長、発育などの知識を得たい、交流する時間を持ちたい、という利用者のニーズに応じたセミナーを企画実施した。

キャンセル待ちが出た場合、追加でセミナーを開催する等、できるだけ多くの方の要望に応えた。

また、セミナー内で交流や意見交換ができるよう職員がコーディネートした。セミナー終了後にアンケートを取り、結果をセミナー企画の参考にするなどし、利用者の要望を聞き取った。

(1) 育児に必要な知識の提供や情報交換、子どもとの関わりを学習する講座

子育てハッピーセミナー、タッチケアセミナー

(2) 市民も気軽に参加できる講座

フォトブック

講座参加総数 314 人

※ベビママセミナー、NPを含む

5. 情報発信

子育て中の保護者の声や様子から情報提供の重要性を感じている。ホームページ、支援センターたより、季刊情報誌「Cocokara」、コミュニティFM局の番組で情報を提供した。

- ・情報誌「Cocokara（ここから）」年4回（4・7・10・1月）編集発行。（B5版、28ページ4,000部） 新潟市内保育園・公民館・公共施設・公共機関等を中心に配布
- ・HPを随時アップデート。 年間アクセス数76,821件
アクセス数が、昨年度の3倍になった。特に予約のページへのアクセスが半数に上っている。コロナウイルス拡大防止のため、予約状況を確認できるページを開設したことが、アクセスが伸びた理由だと考えられる。
- ・図書コーナーの育児・情報書籍の貸し出し。 年間265冊
- ・ラジオチャットFMにいつ「子育て応援します CHATランド」で子育ての情報を発信。

6. 子育てサークル支援

当館の利用が困難、地域で仲間づくりがしたい等の理由で、子育てサークルの役割は重要であると考え、子育てサークルの運営支援を実施。

1. サークル出張・相談

- ・要望のあったサークルにスタッフが出向き、手遊びやふれあい遊びなどを提供。
実施サークル 1サークル
- ・サークルの活動を積極的にサポートするため、運営や人間関係、活動内容などの相談対応を行った。

7. 地域との連携

1. 保育サポーター研修を実施

保育サポーターに対して研修等を実施。サポーター同士の交流と、スキルの向上を図るため実施。

保育サポーター研修 4回 登録サポーター 17人

2. ボランティア育成・支援

地域の人材を子育て支援の現場に活動できる場合は、新型コロナウイルス拡大防止のため中止

- ・手作りおもちゃやエプロンシアターの製作中止
- ・季刊誌「Cocokara（ここから）」の4コマまんが制作他ボランティア1人
- ・花壇ボランティア ※花壇の草取り、苗の植え込み作業 2人

8. 次世代育成

1. 中学生職場体験受け入れに関しては、新型コロナウイルス拡大防止のため中止

2. 大学、専門学校実習及び研修（育ちの森見学後、子育て支援に関する講義及び実習）は中止だったが、育ちの森事業の活動紹介と子育て支援に関して撮影したものを学生に提供した。

- ・新潟大学医学部保健学科 看護学専攻臨床実習中止
- ・新潟看護医療専門学校看護学科 母性看護学実習中止

事業実施のための体制

(1)開館時間	月～金曜日	9:00～16:00
	土曜日	9:00～12:00
(2)職員	館長	1名
	副館長	1名
	受付事務	1名
	広報担当	1名
	保育士	3名
	看護師	1名
	パート職員	1名
	用務員	2名（1名枠を2名体制）
(3)サポートスタッフ	一時預かり・保育ルームなど、必要に応じてサポーターを配置	